

2023年 1月号 (No.270)

平尾台自然観察センター

〒803-0180

福岡県北九州市小倉南区平尾台1-4-40

TEL.093-453-3737 FAX.093-452-3739

✉ [hiradai@cronos.ocn.ne.jp](mailto:hiradai@cronos.ocn.ne.jp)

【開館時間】 9:00～17:00

【休館日】 月曜日 (祝日の場合は翌日)



# イベント報告

12月4日(日)  
『九州自然歩道(カルスト台地)登山(中級)』

九州自然歩道・平尾台エリアのうち約10kmのコースを歩きました。大平山からの展望、千仏谷や不動坂の森林浴など変化に富んだ山歩きを楽しみました。この日は、早朝まで雨模様でしたが出発時刻までには雨が上がり、無事開催できたことを皆で喜びました。



大平山山頂付近

千仏鐘乳洞周辺のイチジョウ



シマカンギク

不動坂

# ボランティア活動報告

12月10日(土)  
『散策コース整備ボランティア』

観察センター前駐車場の草刈りと植栽の剪定を7名のボランティアで行いました。



活動の様子

枝や藁の積み込み作業

# 1月の催し物

『ラクダ山・光水岩溝ハイキング』

【日時】 1月29日(日) 13:00～16:00

【料金】 参加無料

光水岩溝(竪穴)を見学後、平尾台全体が見渡せるラクダ山山頂を目指して歩きます。

『散策コース整備ボランティア』

【日時】 1月14日(土) 9:00～12:00

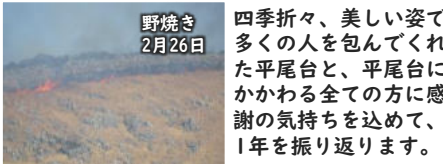
《応募方法》

往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、郵送。

※複数名でのお申込み(4名まで)は、全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記。中学生以下は保護者の参加が必要。

※メ切は開催日の10日前まで必着。

# 2022年平尾台ダイジェスト



野焼き  
2月26日

四季折々、美しい姿で多くの人を包んでくれた平尾台と、平尾台にかかわる全ての方に感謝の気持ちを込めて、1年を振り返ります。



春の訪れ  
3月27日

初夏  
6月8日



初秋  
9月22日

晩秋  
11月9日

2023年もよろしく願い申し上げます。

# 雪

今シーズン最初の寒波到来。雪は12月17日夕方～19日昼頃まで降り、再び22日～24日頃までの「クリスマス寒波」でも積雪しました。



初霜(ネザサ)  
12月3日 午前7:30頃



雪景色(日の出)  
12月19日 午前7:30頃

見晴台から天狗岩方面を望む



初冠雪(貝殻山)  
12月18日 午前7:00頃



雪とフユイチゴ



雪をまとったススキの穂



きのこにも積雪

# ふわふわ種

12月中旬、森では綿毛の種がよく目につきました。



12月15日

テイカカズラの種



12月18日

タカネハンショウヅルの種

冬の冷たい風によって、種が運ばれています。

# 菌



12月15日

アカスジシロコケガの菌

成虫



2016年8月撮影

岩壁で目にとまった籠状の菌。アカスジシロコケガの幼虫(毛虫)が自分の毛を抜いては糸をかけて作った菌です。

# いきもの探訪録

～冬眠編～

12月10日 牡鹿洞

洞窟で冬眠中のいきものをそっと観察しました。



キクガシラコウモリ

洞窟の天井や壁にぶら下がって冬眠中。翼で体をおおうようにして冬眠している姿が見られます。



モモジロコウモリ

狭い岩の窪みにすっぽりと入って冬眠中。腹の毛が白いそうですがなかなか見せてはくれません。



ヒキガエル

モモジロコウモリと同じような岩の窪みて息をひそめるカエル。最適な冬眠場所なのかもしれません。



2023年 2月号 (No.271)

平尾台自然観察センター



〒803-0180

福岡県北九州市小倉南区平尾台1-4-40

TEL.093-453-3737 FAX.093-452-3739

✉ [hiraodai@cronos.ocn.ne.jp](mailto:hiraodai@cronos.ocn.ne.jp)

【開館時間】 9:00～17:00

【休館日】 月曜日 (祝日の場合は翌日)

## 『平尾台 野焼き』のお知らせ

【実施日時】 2023年2月12日 (日)

おおむね 10:30～17:00

予備日: 2月25日 (土)、3月5日 (日)

3月11日 (土)、3月12日 (日)

当日は、安全のため交通規制が行われ野焼き区域は全面立入禁止となります。野焼き観覧をご希望の方は、ソラランド平尾台 (平尾台自然の郷) の園内から見るができます。

## 2月の催し物

### 『コウモリ観察会』

【日時】 2月5日 (日) 13:00～15:30

【料金】 中学生以上 500円、小学生 300円  
鍾乳洞で冬眠中のコウモリをそっと観察します。他の洞窟性生物にも出会えるかも!?

### 『真冬の風穴巡りハイキング』

【日時】 2月26日 (日) 13:00～15:30

【料金】 参加無料

草原の中に点在する洞窟の入口 (洞口) は、地上と地下の気温差や気圧差により、風の流れて「風穴」と呼ばれます。風穴を巡りながら冬の平尾台を歩きます。

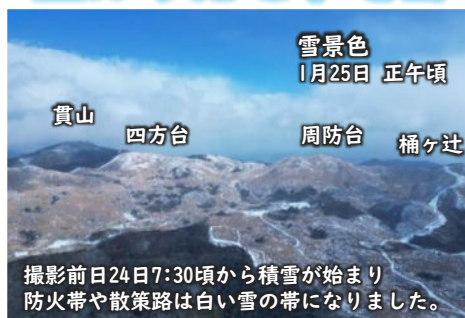
### 『散策コース整備ボランティア』

【日時】 2月11日 (土) 9:00～12:00

#### 《応募方法》

往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、郵送。  
※複数名でのお申込み(4名まで)は、全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記。  
中学生以下は保護者の参加が必要。  
※メ切は開催日の10日前まで必着。

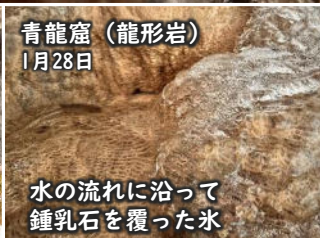
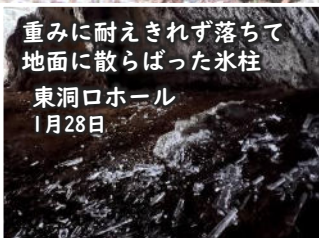
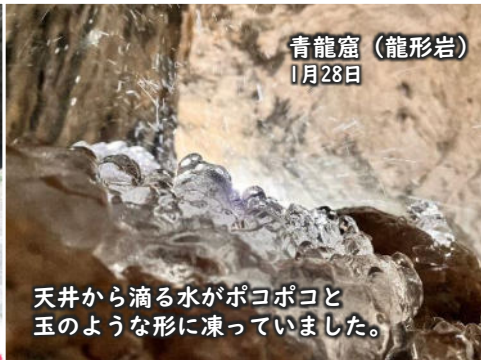
## 空から見た平尾台



撮影前日24日7:30頃から積雪が始まり防火帯や散策路は白い雪の帯になりました。

## 氷の芸術

1月は前半の暖かな気温が一変、後半は氷点下となる日が続きました。洞窟など水が流れる場所は氷の世界になりました。



## いきもの探訪録 ~冬の野鳥~

静まり返った寒い冬の日。野鳥たちとの癒しの時間に心はポカポカになりました。



キジ目キジ科キジ属 野鳥。雪の積もる草原で採食中。植物の種子や芽、実、昆虫類などを探しているようです。



スズメ目ヒタキ科ジョウビタキ属 冬鳥。集落の畑の囲いの支柱にちよこんととまって辺りをキョロキョロ。縄張り性が強いようです。



スズメ目ツグミ科ツグミ属 冬鳥。観察センター前の駐車場付近で採食中。雪の上をビョンビョン跳ねるように歩いていました。



スズメ目ホオジロ科ホオジロ属 冬鳥。ドリーネ内部の林にいた群れが、散策路に飛来してきました。黄色い眉斑と喉が目立ちます。



スズメ目ホオジロ科ホオジロ属 留鳥。平尾台で通年見かけます。背の高いスキの茎をギュッとつかんでとまる姿が愛らしいです。



スズメ目ホオジロ科ホオジロ属 漂鳥。北海道や本州の山地で繁殖し、秋冬は積雪のない地域に移動します。平尾台の雪は想定外?!



2023年 3月号 (No.272)

平尾台自然観察センター

〒803-0180

福岡県北九州市小倉南区平尾台1-4-40

TEL.093-453-3737 FAX.093-452-3739

✉ [hiraodai@cronos.ocn.ne.jp](mailto:hiraodai@cronos.ocn.ne.jp)

【開館時間】 9:00～17:00

【休館日】 月曜日 (祝日の場合は翌日)



# イベント報告

## 『コウモリ観察会(牡鹿洞)』2月5日(日)

牡鹿洞で冬眠中のコウモリをそっと観察しました。モモジロコウモリ2頭、キクガシラコウモリは約200頭も見ることができました。



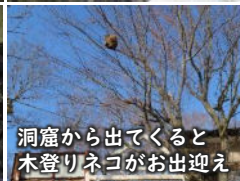
観察の様子



群れで冬眠中のキクガシラコウモリ



前夜の冷え込みで凍った洞内の落枝



洞窟から出てくると木登りネコがお出迎え

## 『真冬の風穴巡りハイキング』2月26日(日)

地上と地下の気温差によって大気循環が起きる『風穴』を巡りました。地下から吹く温かい風を体感しながら風穴の仕組みを学びました。



地下(洞窟)の気温15度前後



日中の地上の気温8度前後



地下から吹く温かい風に手をかざして



蒸気で濡れたコケ

## ボランティア活動報告

### 『駐車場・自然歩道清掃』2月4日(土)

30名を超えるボランティアで、自然歩道(千仏方面)のゴミ拾いと、観察センター前駐車場の藁や落ち葉の除去作業を行いました。どちらのチームも軽トラック1台分、回収しました。



# 3月の催し物

## 『モノクロハイキング』

【日時】3月26日(日) 9:00～15:00  
野焼き後の白さ際立つ石灰岩と黒々とした大地を、春を探しながら歩きます。

## 『散策コース整備ボランティア』

【日時】3月11日(土) 9:00～12:00

## 『第23回平尾台クリーン大作戦』

～みんなの平尾台をみんなで綺麗にしよう～  
【日時】3月18日(土) 10:00～12:00 (9:30～受付開始)

【服装】ハイキングができる服装 (軍手・帽子・長袖・長ズボン・運動靴など)  
★受付時にボランティアゴミ袋を配布します。終了後、記念品のプレゼントがあります。

### 《応募方法》

往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、郵送。

※複数名での申し込み(4名まで)は、全員

の住所、氏名、年齢、電話番号を明記。

中学生以下は保護者の参加が必要。

※メ切は開催日の10日前まで必着。

## 『平尾台野焼き』のお知らせ

【実施日時】2023年3月5日(日)

おおむね10:30～17:00

予備日: 3月11日(土)、3月12日(日)

当日は、安全のため交通規制が行われ野焼き区域は全面立入禁止となります。野焼き観覧をご希望の方は、ソラランド平尾台(平尾台自然の郷)の園内から見るすることができます。

## 『平尾台クロスカントリー2023』

【開催日時】2023年3月19日(日)

9:30～12:30

【会場】ソラランド平尾台及び周辺特設コース  
ランナー走行時に一時的に交通規制があります。



フキノトウ  
2月25日

小さな春みつけた♪  
防火帯に芽を出したフキノトウ

# 石のひっじだより

**春よ来い** 平尾台に春を呼ぶ「野焼き」は、2月は気象条件がそろわず3月に持ち越します。野焼きが終わると春に向けて加速!

## 冬日和の犬平山

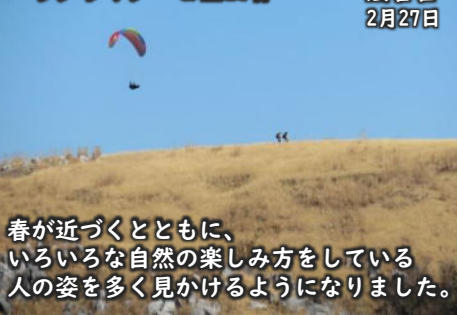
2月9日



枯野の下では、たくさんの植物たちが芽吹き準備をしていることでしょう。

## パラグライダーと登山者

広谷台  
2月27日



春が近づくとともに、いろいろな自然の楽しみ方をしている人の姿を多く見かけるようになりました。

## いきもの探訪録～野鳥～

2月25日



ヒバリ(オス?)

スズメ目ヒバリ科ヒバリ属  
留鳥。声のする方を見ると岩の上  
にいた!上空でも数羽がホバリング。

### 2023年初鳴き情報

「ヒバリ」2月14日頃  
「ウグイス」2月22日頃

野焼きを待たず、春の訪れを告げるヒバリとウグイスのさえずりが聞かれるようになりました。真冬に心を和ませてくれた冬鳥たちはそろそろ旅立ち。別れを惜しみつつ春の気配に心が躍ります。

2月13日



シロハラ(オス?)

スズメ目ツグミ科ツグミ属  
冬鳥。雨の中、案内板に止まって  
じっと遠くを見つめていました。

2月16日



イソヒヨドリ(オス)

スズメ目ヒタキ科イソヒヨドリ属  
留鳥。高い場所から澄んだ綺麗  
な声で鳴いていました。

## 風のしわざ?

2月下旬、草原のススキが局所的になぎ倒されている場所を数カ所見つけました。「つむじ風」の痕跡では?と推測しています。

最も激しく倒れていたぬかみぞ窪(ドリーネ)の斜面  
2月21日



ススキがねじれるようにして倒れている場所もありました。



2023年 4月号 (No.273)

平尾台自然観察センター



〒803-0180

福岡県北九州市小倉南区平尾台1-4-40

TEL.093-453-3737 FAX.093-452-3739

✉ [hiraodai@cronos.ocn.ne.jp](mailto:hiraodai@cronos.ocn.ne.jp)

【開館時間】 9:00～17:00

【休館日】 月曜日 (祝日の場合は翌日)

# 石のひっじだより

## 春到来

「平尾台野焼き」は2度の延期を経て、3月5日(日)に無事実施。開始時はほぼ無風で、炎がじわじわと燃え広がりました。

野焼き  
3月5日 15:30頃  
観察センター裏山



定刻通り10:30火入れ開始  
17:00頃まで場所を変えて行われました。

野焼き翌日  
3月6日 10:00頃  
広谷(野焼き境界線)



野焼きエリア

防火帯

野焼き未実施エリア



キビシロタンポポ



ツクシショウジョウバカマ



ツチグリ



センボンヤリ

野草の開花シーズンを迎えました。

## 野焼きにまつわる気象現象 ～雲と霜～

野焼きの最中  
3月5日 11:00頃  
平尾台上空



野焼きの熱による  
火災積雲

貫山

平尾台に足しげく通う方からの提供写真(小倉南区長野付近から撮影)野焼きの最中、全天快晴の空に、平尾台上空だけまるで貫山大噴火のような雲ができていました。炎で空気が熱せられ「火災積雲」が発生したと考えられます。野焼きで発生するのは非常に稀な現象です。

野焼き翌朝  
3月6日 7:00頃  
川ドリーネ



野焼き後の  
放射冷却による霜

野焼きの翌朝は気温が氷点下になり霜がおりました。野焼きが行われた昼間に太陽と炎で熱せられた大地が、夜間に放射冷却が起きやすい気象条件(快晴・乾燥・静穏)に加えて、熱が放射されやすい「裸地」となったため、一段と冷え込んだと考えられます。

## イベント報告

『第23回クリーン大作戦』3月18日(土)

2019年度よりコロナ禍で休止していた平尾台の大掃除を実施しました。47名の参加者でゴミ袋約35袋・タイヤ3本・テレビ1台・使用済み消火器1本などを回収しました。



ゴミ拾いの様子

回収したゴミ

## ボランティア活動報告

『保全ロープ復旧作業』3月11日(土)

野焼き時に焼失しないよう予め撤去していた「保全ロープ」の復旧作業を行いました。道路沿いや立入規制区域の周囲に再度設置しました。



茶ヶ床園地向かう道路沿い

広谷湿原の周囲

## 早春のきのこ



3月20日



トガリアミガサタケ

3月20日



ツバキキンカクチャワンタケ

落ちた棒の花を分解するきのこ

3月22日



ハラタケ

3月27日



ベニヤマトケ

## 陥没穴に注意

3月19日  
堂金山



現在も陥没が進行中

野焼き後は草原に隠れていた陥没穴が露わになり、容易に近づくことができる状態です。安全のため陥没穴には近づきすぎないようにしましょう。

## 4月の催し物

『ライオン岩・天狗岩縦走登山』

【日時】4月2日(日) 9:00～15:00  
野焼き後のみ歩くことができるコースでライオン岩を目指します。さらに周防台から天狗岩に続く稜線「天空の道」を歩きます。

『早春の野草観察会』

【日時】4月9日(土) 9:00～14:30  
オキナグサなど早春の野草を観察します。

『散策コース整備ボランティア』

【日時】4月8日(土) 9:00～12:00

『草刈りボランティア』

【日時】4月21日(金)、27日(木)  
9:00～12:00

《応募方法》

往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、郵送。  
※複数名でのお申込み(4名まで)は、全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記。  
中学生以下は保護者の参加が必要。  
※メ切は開催日の10日前まで必着。

## いきもの探訪録

～観察センター周辺にすむ野鳥～



ヒヨドリ  
3月7日

黄色い花粉(樅?)  
がついた顔

スズメ目ヒヨドリ科ヒヨドリ属留鳥。花の蜜が大好物。おすまし顔で木にとまっていますが、観察センターの樅をつついたか顔に黄色いおひげができています。



スズメ  
3月7日

交尾の瞬間

スズメ目スズメ科スズメ属留鳥。スズメがペアで何度もくっついたり離れたりしているの、何をしているんだろうとシャッターを切ると、交尾が始まりました。



2023年 5月号 (No.274)

平尾台自然観察センター



〒803-0180  
福岡県北九州市小倉南区平尾台1-4-40  
TEL.093-453-3737 FAX.093-452-3739  
✉ [hiraodai@cronos.ocn.ne.jp](mailto:hiraodai@cronos.ocn.ne.jp)

【開館時間】 9:00~17:00  
【休館日】 月曜日 (祝日の場合は翌日)

# イベント報告

# 5月の催し物

## 『新緑の貫山登山』

【日時】 5月7日 (日) 9:00~15:30  
新緑のカルスト台地を眺めながら貫山に登ります。

## 『初夏の野草観察会』

【日時】 5月21日 (日) 9:00~14:30  
シランなど初夏の野草を観察します。

## 『散策コース整備ボランティア』

【日時】 5月13日 (土) 9:00~12:00

## 『草刈りボランティア』

【日時】 5月10日 (水)、16日 (火)  
19日 (金)、23日 (火)  
26日 (金) 9:00~12:00

### 《応募方法》

往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、郵送。  
※複数名でのお申込み(4名まで)は、全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記。  
中学生以下は保護者の参加が必要。  
※メ切は開催日の10日前まで必着。

## 『ライオン岩・天狗岩縦走登山』 4月2日 (日)

快晴に恵まれ、約10kmのコースを歩きました。ライオン岩を囲んで記念撮影をしたり、親子で支え合って尾根道の下を楽しんでいました。



ライオン岩の背中に乗って



天狗岩からの下り

## 『早春の野草観察会』 4月9日 (日)

オキナグサ・フデリンドウ・スマレ類を中心に観察しました。この日、早くもシランとオカオグルマが開花していたのには皆で驚きました。



観察会の様子



オキナグサ

# いきもの探訪録

昨年夏~冬を成虫で生きのび翅が傷んでいます。



3月29日

ヒオドシチョウ

大型の蛾 約9cm



4月13日

イボタガ

チョウ目タテハチョウ科 福岡県準絶滅危惧。赤い縞(緋縵)が名前の由来。昨年6月頃に羽化し成虫で越冬。産卵期の春先に風格漂う姿で現れます。

チョウ目イボタガ科 春の三大蛾の一つ。幼虫の食樹であるイボタノキが名前の由来。大型でフクロウの目のような眼玉模様が迫力満点です。



4月11日

アカガエルの仲間

平尾台に数種いるアカガエルの仲間。見分け方のポイントは、背側線が直線か曲線か?あごの模様の有無?この写真では確認できず...いつか再チャレンジ!



4月26日

ホオアカ

スズメ目ホオジロ科 漂鳥。赤いほっぺが名前の由来。胸元のネクレスのような褐色模様が特徴。ホウジロのさえずりと聞き分けるには慣れが必要。

## こむそう穴 安全柵更新作業

高度差約98mの堅穴「こむそう穴」経年劣化した安全柵の更新作業が土地を所有する団体によって行われました。有刺鉄線を1周約50m×2周分(合計約100m)張替えました。



4月24日

こむそう穴

## 休館日の観察センター 謎の訪問者

誰もいないはずの館内から「トントんッ」と大工仕事の音。恐る恐る音のする方へ向かった先には...?!



4月3日

窓ガラスをくちばして つつくキジ (オス)

# 石のひっじだより

## 眩い新緑

新緑と青空のコントラストが美しい季節になりました。植物は例年よりも駆け足で移り変わっているように感じます。



石割桜 3月31日



根性の木 4月26日

ド根性「コバノチョウセンエノキ」今年も元気に青々とした葉をつけました。



ニガナ



ヒメハギ



ミヤマウグイスカグラ



コキンバイザサ

## 好石灰岩植物

石灰岩の周りを好む植物

石灰岩の岩肌を彩る植物たちを観察しました。



4月4日



4月11日

シロバナハンショウヅル



4月17日



4月17日

キビノクロウメモドキ

## 冬虫夏草 オオセミタケ

セミの幼虫から生えるきのこ



オオセミタケ 4月11日

セミの幼虫(アブラゼミ?)の頭部から生えたきのこ。幼虫の体内は白い菌糸で満たされ全身をきのこに乗っ取られた状態です。周囲にも根のように菌糸が伸びています。



2023年 6月号 (No.275)

平尾台自然観察センター

〒803-0180

福岡県北九州市小倉南区平尾台1-4-40

TEL.093-453-3737 FAX.093-452-3739

✉ [hiraodai@cronos.ocn.ne.jp](mailto:hiraodai@cronos.ocn.ne.jp)

【開館時間】 9:00～17:00

【休館日】 月曜日 (祝日の場合は翌日)



# イベント報告

## 『初夏の野草観察会』 5月21日 (日)

シランやカナビキソウなど100種以上の野草を観察しました。植物以外にもきのこや昆虫、カッコウの初鳴きを皆で聞くことができるなど盛りだくさんなイベントになりました。

カナビキソウ



爽やかな初夏の風を感じながらの観察会



## ボランティア活動報告

### 『青龍窟ケイピング研修』 5月11日 (木)

経験者3名+初心者2名で青龍窟でケイピングガイド研修を行いました。座学の後、いざ洞窟の内部へ。イベントを想定したルート確認を行い、1時間40分後に無事出洞しました。



研修の様子



青龍窟 西洞口

### 『野草調査 (広谷)』 5月25日 (木)

ボランティア10名で茶ヶ床園地～広谷エリアの野草を調査しました。湿原性のトキソウなど71種の開花草本を確認。梅雨～夏にかけてノハナショウブやサギソウなどの開花が待たれます。



トキソウ



調査の様子

### 『草刈りボランティア』 計4回

5月10日・16日・23日・26日の計4回、のべ22名のボランティアで草刈りを行いました。草刈り経験の浅い方には講習も行いました。



草刈りの様子



講習の様子

# 6月の催し物

## 『初夏の生き物観察会』

【日時】 6月11日 (日) 9:00～12:00  
野鳥や昆虫など初夏の生き物を観察します。

## 『広谷湿原野草観察会』

【日時】 6月25日 (日) 9:00～14:30  
ノハナショウブなど湿原の野草を観察します。

## 『散策コース整備ボランティア』

【日時】 6月10日 (土) 9:00～12:00

## 『草刈りボランティア』

【日時】 6月7日 (水)、15日 (木)  
20日 (火)、23日 (金)  
29日 (木) 9:00～12:00

### 《応募方法》

往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、郵送。  
※複数名でのお申込み(4名まで)は、全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記。  
中学生以下は保護者の参加が必要。  
※メチは開催日の10日前まで必着。

## 広谷エリア「注意看板」更新



広谷エリア (町指定天然記念物) の注意看板が5月9日 (火) 苅田町によって更新されました。自然を大切にマナーを守って楽しみましょう。

## 幾何学模様のシダ

ドリーネの岩壁に生えるシダ植物。美しくモダンな雰囲気の自然界の幾何学模様です。



拡大

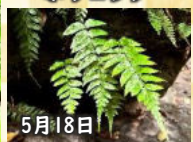
ヒメカナワラビ



5月18日



ハウビンダ

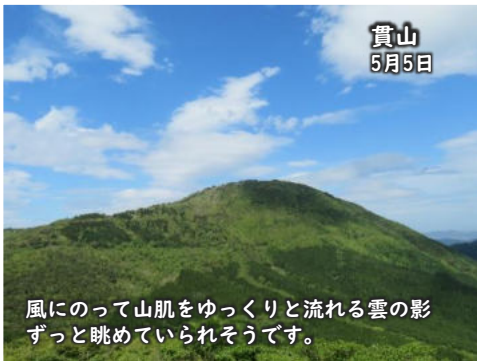


5月18日

# 石のひっじだより

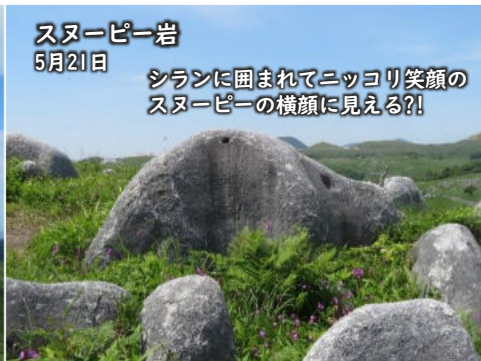
初夏 5月14日にホトトギス、5月21日にはカッコウの初鳴きが聞かれました。昨年とほぼ同時期 (どちらも1日遅れ) の確認です。

貫山  
5月5日



風によって山肌をゆっくりと流れる雲の影ずっと眺めていられそうです。

スノーピー岩  
5月21日



シランに囲まれてニッコリ笑顔のスノーピーの横顔に見える?!



ジャケツイバラ



ヤマハタザオ



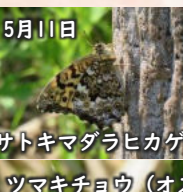
シラン



サイヨウシャジン

## いきもの探訪録

～チョウ～



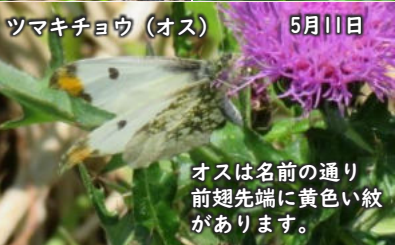
5月11日

サトキマダラヒカゲ



5月17日

ダイミョウセセリ



5月11日

オスは名前の通り前翅先端に黄色い紋があります。



## きのこの世界

きのこの姿から名前を考えてみましょう。



5月21日

スジオチバタケ



5月18日

マメザヤタケ

英語で 'dead man's fingers'。「死者の指」と名前は「豆のさや」が由来のきのこ。地下からのびたゾンビの指を連想させますが朽木や倒木から発生します。



5月21日

ナギナタタケの仲間?



2023年 7月号 (No.276)

平尾台自然観察センター

〒803-0180

福岡県北九州市小倉南区平尾台1-4-40

TEL.093-453-3737 FAX.093-452-3739

✉ [hiradai@cronos.ocn.ne.jp](mailto:hiradai@cronos.ocn.ne.jp)

【開館時間】 9:00~17:00

【休館日】 月曜日 (祝日の場合は翌日)



# イベント報告

## 『初夏の生き物観察会』6月11日(日)

昆虫と野鳥を中心に初夏の生き物を観察しました。カワラヒワやホオジロなど野鳥の他、ニホンヒキガエルも見ることができました。



観察会の様子



イタドリ  
の葉を巻いて  
「揺らん」  
をつくる

カシルリオトシブミ



メタリックカラーが美しい

アカガネサルハムシ



アリゾグクの観察



カラムシ  
に集まる

ラミーカミキリ



耳の後ろやイボに毒腺あり

有毒  
ニホンヒキガエル

## ボランティア活動報告

### 『草刈り・整備ボランティア』

梅雨の晴れ間、多くの方が活動されました。



6月3日

外来種駆除・草刈り



6月3日

活動された団体の皆様  
(YAMAPボランティア)



6月7日

草刈り (小穴方面)



6月10日

葛の除去作業  
(千貫岩駐車場)



6月15日

草刈り (センター前)



6月20日

整備 (茶ヶ床園地周辺)

# 7月の催し物

## 『夏のきのご観察会』

【日時】 7月16日(日) 9:00~14:00  
夏の森に発生するきのごを観察します。

## 『洞窟の生き物観察会(牡鹿洞)』

【日時】 7月30日(日) 9:30~12:00  
【料金】 中学生以上 500円、小学生 300円  
竪穴に迷い込んだ生き物などを観察します。

## 『散策コース整備ボランティア』

【日時】 7月8日(土) 9:00~12:00

## 『草刈りボランティア』

【日時】 7月5日(水)、11日(火)  
9:00~12:00

### 《応募方法》

往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、郵送。  
※複数名でのお申込み(4名まで)は、全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記。  
中学生以下は保護者の参加が必要。  
※メ切は開催日の10日前まで必着。

## いきもの探訪録 ~6月12日 広谷湿原~

動物(アナグマ?)の糞を吸う  
「キアゲハ」と「オオチャバネセセリ」



養分を取り込むため、花以外に獣糞や人の汗にも集まるそうです。セセリチョウの仲間には自分のおしっこを糞にかけ溶かして吸う「吸い戻し行動」をします。

蛾(タケカレハ)の繭を狙う  
「ヤマトシリアゲ」と「ニクバエの仲間」



どちらも蛾の繭の体液を吸いにきたようです。ニクバエが先に口を繭に差し込み、ライバルのヤマトシリアゲを追い払おうと翅を振るわせていました。

「ハウセンカヒゲナガアブラムシ」



サルトリイバラの葉の裏にいたアブラムシのコロニー。世代によって餌とする植物を変える種で、この後はツリフネソウに移住するようです。

# 石のひっじだより

梅雨 梅雨の中休みにフィールドに出るとたくさんの生き物に出会いました。6月26日午前には、43日ぶりにカッコウの声を聞きました。



6月16日  
堂金山からの眺望



6月3日

テングチョウ



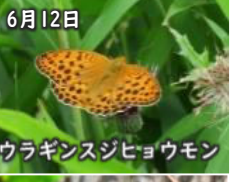
6月4日

カワラヒワ



6月7日

ミズイロオナガシジミ



6月12日

ウラギンスジヒョウモン



カキラン



モウセンゴケ



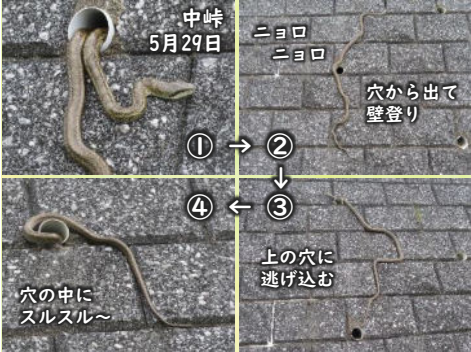
ノハナショウブ



ヤマホトトギス

## アオダイショウの壁登り

擁壁の水抜き穴から顔を出すアオダイショウ。人の気配を感じ、壁を登って上の穴に逃げ込みました。この壁は、昨年7月頃に抜け殻が複数付いていたので、棲みかになっているようです。

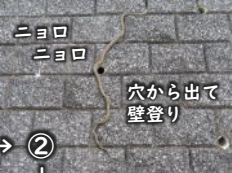


①

②

④

③



ニョロニョロ

穴から出て壁登り

上の穴に逃げ込む

穴の中にスルスル~

## ホオジロの水浴び

雨上がりに、キョロキョロしながら水たまりに近づくホオジロ。そっと観察していると、水浴びを始めました。羽根についた汚れや寄生虫、脂粉などを洗い落とすために行うようです。



茶ヶ床園地  
6月26日

水際から歩いて水の中へ

①

②



プハーッ! ④

③

これを数回繰り返して飛び去りました

豪快に頭からダイブ



翼を広げてバシバシ



6月3日

外来種駆除・草刈り



6月3日

活動された団体の皆様  
(YAMAPボランティア)



6月7日

草刈り (小穴方面)



6月10日

葛の除去作業  
(千貫岩駐車場)



6月15日

草刈り (センター前)



6月20日

整備 (茶ヶ床園地周辺)



2023年 8月号 (No.277)

平尾台自然観察センター  
〒803-0180  
福岡県北九州市小倉南区平尾台1-4-40  
TEL.093-453-3737 FAX.093-452-3739  
✉ [hiraodai@cronos.ocn.ne.jp](mailto:hiraodai@cronos.ocn.ne.jp)



## イベント報告

## 8月の催し物

### 『夏の野草観察会』

【日時】8月6日(日) 9:00~12:30  
ノヒメユリなど夏の野草を観察します。

### 『鍾乳洞探検(不動洞)』

【日時】8月27日(日) 9:00~14:00  
【料金】5,000円(対象:小学4年生以上)  
自然のままの洞窟「不動洞」を探検します。

### 《応募方法》

往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、郵送。  
※複数名でのお申込み(4名まで)は、全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記。  
中学生以下は保護者の参加が必要。  
※メ切は開催日の10日前まで必着。

### 館内リニューアル工事に伴う 休館のお知らせ

9月1日(金)より館内リニューアル工事のため休館させていただきます。  
フィールドイベントは休館中も開催予定です。詳細は、追ってHPにてお知らせします。よろしくお願いいたします。

### たて続けに降った大雨

7月前半は想像を超える大雨が降りました。

7月1日 8:00頃  
光水交差点付近

7月9日 13:30頃  
県道28号 行橋方面



池になったドリーネ



倒木で3日間の通行止

### 観察センターのお客様

7月14日



ヒヨドリのヒナ

センターの野草園に降り立ったヒヨドリのヒナ。くちばしの両端が白く、ふわふわの産毛も残っています。すぐ近くで親鳥の鳴く声がありました。

7月15日



ヒバカリ

開館準備中に、館内の階段にいた小型のヘビ。首のあたりに黄色い模様があります。無毒でおとなしいヒバカリのようです。一体どこから入ったのでしょうか。

### 『夏のきのご観察会』7月16日(日)

福岡きのこ友の会から講師をお招きし、きのご観察と名前調べを行いました。冬虫夏草2種類含む約60種のきのごを見ることができました。



森できのご探し



ベニナギナタタケ



ツヤアオカメムシが  
宿主のようです。



名前調べの様子

### 展示イベント

『きのご写真展』IFエレベーターホール  
8月31日まで開催中

### ボランティアガイド研修

### 『千仏川沢登り& 不動洞プチケイビング』7月22日(土)

沢登り初参加2名+経験者5名のボランティアで千仏橋~不動洞までのシャワークライミングと不動洞ケイビングを一度に楽しみました。



千仏川沢登り



不動洞ケイビング

### ボランティア活動報告

### 『草刈りボランティア(千貫岩駐車場)』

7月は雨の日が多く、メンバー揃っての草刈りは1度しか実施できませんでしたが、後日、有志で刈り残した場所の作業を行いました。



7月10日

案内板・東屋周辺



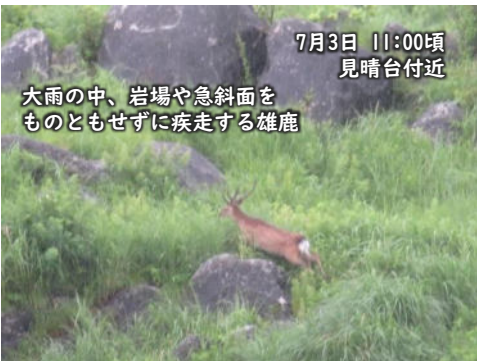
7月11日

駐車場脇

【開館時間】9:00~17:00  
【休館日】月曜日(祝日の場合は翌日)

# 石のひっじ だより

## 夏到来 7月の九州北部は、前半の記録的な大雨に続き、全国で最も遅い7月25日に梅雨明け発表と、異例の事態となりました。



7月3日 11:00頃  
見晴台付近

大雨の中、岩場や急斜面をものともせず疾走する雄鹿



7月20日  
ノヒメユリと大平山

梅雨明けを待たず、ノヒメユリが開花しました。夏の訪れを感じます。



7月20日

ジャノメチョウ



7月20日

ニイニゼミ



7月22日

ゴイシジミ



7月23日

カブトムシ

### きのこの卵の正体は?!

森で見つけた2つのきのこの卵(幼菌)。どんなきのこ(成菌)が生えてくるのか観察しました。

#### 謎の幼菌①

#### 【正体】ヒナツチガキ



7月16日 16:00頃



わずか1cm

7月19日 12:30頃



7月21日 8:00頃



逆さまに生えた!

7月21日 13:00頃

### 樹液に集まる虫たち

~7月22日 ネムノキ~

花期が終わったばかりのネムノキが樹液酒場となっていました。太い幹から高い枝まで、虫たちで大にぎわいです。辺りは発酵した樹液の甘酸っぱい香りがしていました。



#### 確認できた主な虫たち

- チョウ
  - ・ルリタテハ
  - ・サトキマダラヒカゲ
  - ・クロヒカゲ
  - ・ゴマダラチョウ
- 甲虫
  - ・カナブン
  - ・アオカナブン
  - ・ヨツボシケシキスイ
  - オオスズメバチ



2023年 9月号 (No.278)

平尾台自然観察センター

〒803-0180

福岡県北九州市小倉南区平尾台1-4-40

TEL.093-453-3737 FAX.093-452-3739

✉ [hiraodai@cronos.ocn.ne.jp](mailto:hiraodai@cronos.ocn.ne.jp)

館内リニューアル工事のため  
2023年9月1日(金)より休館



# イベント報告

## 『洞窟の生き物観察会(社鹿洞)』7月30日(日)

涼しい洞窟で生き物観察会を行いました。雨などで洞窟に流れ込んだカエルや昆虫の他、洞窟夏眠性のガなど20種以上の生き物を観察しました。夏の平尾台の洞窟では珍しくキクガシラコウモリが飛ぶ様子も見ることができました。



洞内温度15.1度  
涼しい観察会



シュレーゲルアオガエル



洞窟で夏眠するガ

チャイロカドモンヨトウ



オオオサムシ

## 『夏の野草観察会』8月6日(日)

ノヒメユリやカワラナデシコなど夏の野草を観察しました。初秋の野草のナンバンギセルやサワヒヨドリが早くも開花しており、約100種類もの野草を見ることができました。



観察会の様子



ノヒメユリ



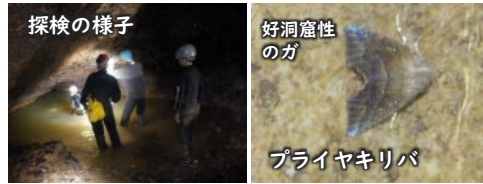
ナンバンギセル



カワラナデシコ撮影中

## 『鍾乳洞探検(不動洞)』8月27日(日)

自然のままの洞窟をヘッドライトの明かりをたよりに全身ずぶ濡れになって進む、日常とは違った体験を楽しみました。鍾乳石のつき方を学んだり、洞窟内の生き物も観察しました。



探検の様子

好洞窟性のガ

プライヤキリバ

# 9月の催し物

## 『初秋の野草観察会』

【日時】9月10日(日) 9:00~12:30  
キセワタなど初秋の野草を観察します。

## 『鍾乳洞探検(目白洞)』

【日時】9月24日(日) 9:00~13:00  
【料金】6,000円(対象:小学4年生以上)  
目白洞の観光化されていない場所をヘルメットとライトなどの装備で探検します。

## 『散策コース整備ボランティア』

【日時】9月9日(土) 9:00~12:00

## 『草刈りボランティア』

【日時】9月14日(木)、22日(金)  
28日(木) 9:00~12:00

## 《応募方法》

往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、郵送。  
※複数名でのお申込み(4名まで)は、全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記。  
中学生以下は保護者の参加が必要。  
※メ切は開催日の10日前まで必着。

## 館内リニューアル工事開始!

いよいよ9月1日(金)より、館内リニューアル工事が始まります。センターは休館となり、敷地内(1F軒下含む)への立入ができなくなります。フィールドイベントとボランティア活動は、集合・解散場所を「センター前広場」とし、実施します。ご不便をおかけしますが、リニューアルオープンをお楽しみに、今後ともよろしくお願い申し上げます。

## いきもの探訪録

オオシロオビゾウムシ

窓のサッシに引っかかった  
アオダイショウのこども  
救出大作戦!



ゾウムシが開けた穴

8月6日

数少ないシダ植物に集まるゾウムシ。ワラビの茎に口吻を突き刺して吸汁しているようです。



8月13日 7:30頃

前田商店の窓のサッシに引っかかって動けないアオダイショウのこどもも。現場に居合わせた方々によって、どうにかこうにかはすすることができました。

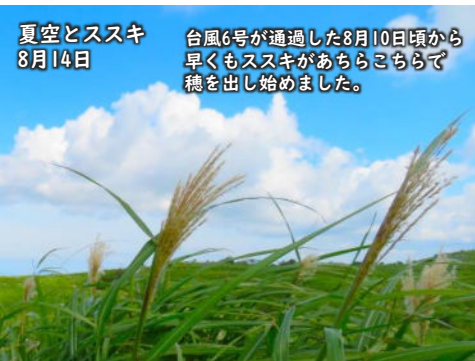
## 秋の気配

厳しい残暑が続く中、秋の七草が草原を彩っています。8月の終わりには、セミの合唱にスズムシの音色も加わりました。



成長中の入道雲  
8月2日

三笠台からの眺望



夏空とススキ  
8月14日

台風6号が通過した8月10日頃から早くもススキがあちらこちらで穂を出し始めました。



オミナエシ

サワヒヨドリ



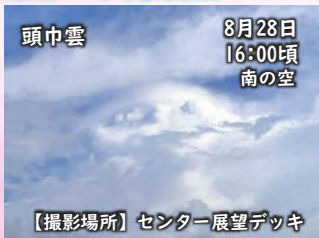
マキエハギ



クズ

## 空の美術館

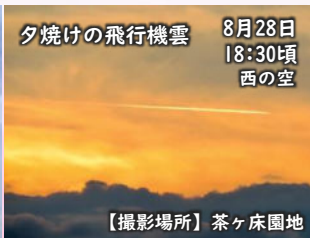
いつも私たちの上空に広がる空。特に平尾台では空を近くに感じ、二つと同じものがない雲の形や空の色は、いつもでも見えていられそうです。



頭巾雲

8月28日  
16:00頃  
南の空

【撮影場所】センター展望デッキ



夕焼けの飛行機雲

8月28日  
18:30頃  
西の空

【撮影場所】茶ヶ床園地



夕虹

8月28日  
18:30頃  
東の空

【撮影場所】茶ヶ床園地

入道雲のてっぺんに帽子を被せた形の「頭巾雲」。下層にできる積雲や入道雲(雄大積雲)が上空に成長していく際に、上昇気流が薄い湿った層を押し上げることで発生します。真夏日続きで、地上と上空の気温差が大きかった8月。頭巾雲が何層にも重なったり、頭巾を突き抜けて襟巻き状になった雲が見られました。

日没近く、西の空に現れた夕日に染まった飛行機雲。冷たく湿った上空を飛ぶ飛行機の排気ガス中の水分や飛行機が作る気流の中で温度が下がることで現れる「人為起源雲」です。早く消えてなくなる程、上空の空気が乾燥していて晴天が続くサインとされています。この日は1分足らずで消え、翌日は晴天となりました。

夕焼けの飛行機雲と時を同じくして東の空に現れた夕虹。この時、平尾台は晴れていましたが、虹の向こう側の豊前市方面では小雨が降っていたようです。気づいた瞬間は虹の外側にもう一つ、色が薄い虹(副虹)がかかったダブルレインボーでしたが、カメラをかまえる間に副虹は消えて、主虹のみ撮影できました。



2023年 10月号 (No.279)

平尾台自然観察センター

〒803-0180

福岡県北九州市小倉南区平尾台1-4-40

TEL.093-453-3737 FAX.093-452-3739

✉ [hiraodai@cronos.ocn.ne.jp](mailto:hiraodai@cronos.ocn.ne.jp)



# イベント報告

# 10月の催し物

【集合・解散場所】 観察センター前広場

## 『ススキ観賞登山』

【日時】 10月9日 (月・祝) 9:00~15:00  
ススキを観賞しながら四方台まで登ります。

## 『晩秋の野草観察会』

【日時】 10月22日 (日) 9:00~14:30  
ウメバチソウなど晩秋の野草を観察します。

## 『散策コース整備ボランティア』

【日時】 10月14日 (土) 9:00~12:00

## 『草刈りボランティア』

【日時】 10月5日 (木)、12日 (木)  
20日 (金)、25日 (水)  
27日 (金) 9:00~12:00

### 《応募方法》

往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、郵送。  
※複数名でのお申込み(4名まで)は、全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記。  
中学生以下は保護者の参加が必要。  
※メ切は開催日の10日前まで必着。

# いきもの探訪録

## 『初秋の野草観察会』 9月10日 (日)

休館中の初めてのイベント。センター前広場で説明後、フィールドに出発しました。秋の七草やイヌハギ・キセワタなど約100種類もの野草の他、冬虫夏草を3つも見ることができました。

センター前広場に集合



キセワタ



観察会の様子



冬虫夏草

ツクツクボウシタケ?

## 『鍾乳洞探検(目白洞)』 9月24日 (日)

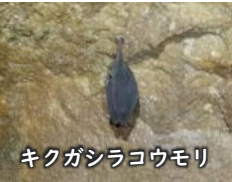
観光洞を見学した後、約90分間のケイビングを行いました。狭い場所を泥んこになって進む、非日常な体験を楽しみました。途中、キクガシラコウモリも見ることができました。



目白洞 (観光鍾乳洞)



ケイビングルートへ



キクガシラコウモリ



無事、生還



ゴボウゾウムシ

9月3日

ゾウムシ科 体表に粉をまぶした姿が特徴的なゾウムシ。ススキの葉の上にペアでいました。食草は、ゴボウと同じキク科のアザミ類です。



エサキモンキツノカメムシ

9月3日

ツノカメムシ科 体の中央のハート模様と胸の両端のツノが特徴のカメムシ。ハート模様が愛らしく、見つけると良いことがありそうな気がします。



ギンモンセダカモクメ

9月3日

ヤガ科 環境省・福岡県の準絶滅危惧に指定される蛾。ハバヤマボクチの葉に止まって休んでいました。草原に生息し、ヨモギを食草とします。



獣糞に集まる3種類の蝶

9月20日

シジミチョウ科  
・ウラギンシジミ  
・ツバメシジミ  
・ルリシジミ  
3種類のシジミチョウが獣糞に集まって汁を吸っていました。

# ボランティア活動報告

## 『草刈り・整備ボランティア』

駐車場や散策路の草刈りと外来植物(セイタカアワダチソウ)の駆除を行いました。



9月9日  
センター前駐車場整備



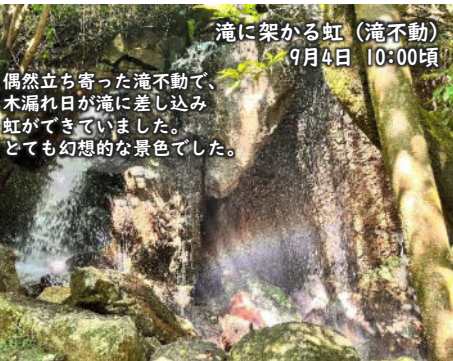
9月22日  
草刈り

館内リニューアル工事のため休館中です。  
フィールドボランティア・イベントは開催しています。

# 石のひっじだより

## 深まる秋

9月下旬、厳しい残暑がやっと和らいできました。風に揺れるススキが陽の光を浴びて輝く、美しい季節です。



滝に架かる虹 (滝不動)

9月4日 10:00頃

偶然立ち寄った滝不動で、木漏れ日が滝に差し込み虹ができていました。とても幻想的な景色でした。



四方台からの眺望

若いススキの穂とまだ夏のような雲

9月21日



ヤナギアザミ



ツルリンドウ



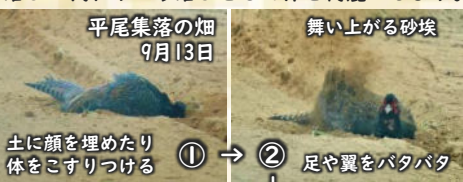
ノアズキ



イヌハギ

## キジの砂浴び

オスのキジの入浴シーンを目撃! 畑の窪みに座り、乾いた土に顔を埋めたり足で土を掻き出して全身に浴びています。乾燥地にすむキジは水浴びの代わりに砂浴びをして体を綺麗にします。



平尾集落の畑  
9月13日

舞い上がる砂埃

① ② ③ ④  
土に顔を埋めたり体をこすりつける

足や翼をバタバタ

④ ③ ② ①  
スッキリした!

10分以上は砂浴びしていました

## 桜餅の香りがする毛虫 モンクロシャチホコの幼虫

夏~秋に桜の木に集団で発生する蛾の幼虫。「サクラケムシ」とも呼ばれ、桜の葉を食べて育った幼虫からは桜餅のような香りがします。



観察センター前駐車場  
9月21日

約5cm

桜餅風味の幼虫とフンは昆虫食の世界では人気の食材。10月頃には地中にもぐり蛹で越冬し、翌年7月頃には成虫になるため、幼虫の時期が食材としての旬のようです。



幼虫に葉を食べつくされそうな桜の木



大量に地面に落ちた幼虫のフン

# ボランティア活動報告

## 『草刈り・整備ボランティア』

駐車場や散策路の草刈りと外来植物(セイタカアワダチソウ)の駆除を行いました。



9月9日  
センター前駐車場整備



9月22日  
草刈り



2023年 11月号 (No.280)

平尾台自然観察センター



〒803-0180

福岡県北九州市小倉南区平尾台1-4-40

TEL.093-453-3737 FAX.093-452-3739

✉ [hiraodai@cronos.ocn.ne.jp](mailto:hiraodai@cronos.ocn.ne.jp)

館内リニューアル工事のため休館中です。  
フィールドボランティア・イベントは開催しています。

# 石のひっじ だより

**秋晴れ** 10月は爽やかな秋晴れの日が多く、登山やススキ観賞に多くの方が訪れました。防火帯作りも行われ野焼きの準備が進んでいます。



夕日と大平山  
10月21日 17:15頃

ススキは10月中旬に花が咲き終わり、  
白い穂が陽を浴びてキラキラと輝き始めました。



ヤマラッキョウ



アケボノソウ



センブリ



リンドウ



ヤマグリ



アケビ



カキ



ヤマナシ

## イベント報告

### 『ススキ観賞登山』10月9日(月・祝)

霧雨のためコースを一部変更して実施しました。  
昼頃までは霧で景色が望めませんでしたが、霧  
の中を歩く体験や霧が晴れていく様子、雨粒を  
まとった野草の観察などを楽しみました。



霧の平尾台 (広谷)



雨粒をまとった  
チカラシバ



ススキ草原



産須根の祠

### 『晩秋の野草観察会』10月22日(日)

澄んだ秋空とススキが美しい絶好の散策日和。  
ヒメヒゴタイ・リンドウ・ウメバチソウなど約  
80種類の野草を観察しました。コース終盤には  
突如アナグマが現れ、そっと観察しました。



ヒメヒゴタイ



観察会の様子



岩山で昼食



アナグマ

## ボランティア活動報告

### 『草刈り・外来種駆除ボランティア』

散策路の草刈りと外来植物駆除を行いました。  
日本山岳会北九州支部の団体参加もありました。



10月7日 日本山岳会  
セイトカアワダチソウ駆除



10月12日  
草刈り (中峠付近)

## 11月の催し物

【集合・解散場所】観察センター前 広場

### 『晩秋のきのこ観察会』

【日時】11月5日(日) 9:00~12:30  
森できのこを探して観察します。

### 『青龍窟・旧観光洞探検』

【日時】11月19日(日) 9:00~15:00  
昭和30年代まで公開されていた青龍窟の  
旧観光ルートを探検します。

### 『散策コース整備ボランティア』

【日時】11月11日(土) 9:00~12:00

### 『草刈りボランティア』

【日時】11月1日(水)、7日(火)  
14日(火) 9:00~12:00

### 《応募方法》

往復ハガキにイベント名、住所、氏名、  
年齢、電話番号を明記の上、郵送。  
※複数名でのお申込み(4名まで)は、全員  
の住所、氏名、年齢、電話番号を明記。  
中学生以下は保護者の参加が必要。  
※メ切は開催日の10日前まで必着。

## 南方からやってきた蛾 「キョウチクトウスズメ」

10月17日



約4cm

迷彩柄

キョウチクトウスズメ

スズメガ科。食草はキョウチクトウやニチニチソウ。暖かい地域に生息し、南方から飛んできたものと思われる。福岡県では一時的に発生するのみで定着はしていないようです。

## 「チョウゲンボウ」

ハヤブサの仲間のチョウゲンボウが防鳥ネットに絡まって飛べなくなっていました。ネットを外して見守っていると元気に山へと飛び立って行きました。

10月1日 9:00頃

山に帰って  
いく勇姿



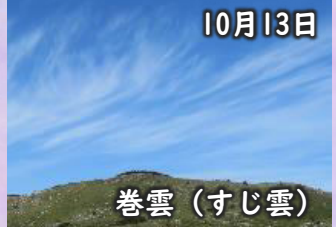
全長  
約38cm

チョウゲンボウ (メス)

## 空の美術館 ～秋の雲～

秋晴れの日、澄んだ青空にいろいろな形の雲が浮かびます。雲はできる高さや形により大きく10種類に分類されます。雲を名前と呼べるようになったらより散策の楽しみが増えそうです。

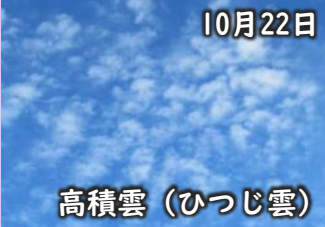
10月13日



巻雲 (すじ雲)

上層 (高度10km付近、飛行機が飛ぶ高さ) にできます。小さな氷の粒が落下しながら上空の風に流され、筋状の形になります。上空の風が強まる秋は綺麗に長く伸びます。

10月22日



高積雲 (ひっじ雲)

中層 (高度2~7km付近) にできます。小さな水の粒でできています。うろこ雲 (巻積雲) に似ていますが、ひっじ雲の方が地上近くにでき一つ一つの雲が大きく見えます。

## 冬鳥「ジョウビタキ」

ジョウビタキが今年も越冬にやってきました。冬に大陸からやってくる渡り鳥で、今年10月15日頃から「ヒッヒッヒッ、カカツ」と縄張りを主張する声 (地鳴き) が草原や観察センター周辺で聞かれ始めました。冬の間、オスとメスは別々になわばりを構えて単独で越冬します。



全長  
約15cm

メス

10月17日



オス

10月23日

春には日本を去って、北方で繁殖期を迎えますが、近年は日本国内 (北海道・ハケ岳・大山など) での繁殖の確認が増えています。繁殖地で聞かれるオスのさえずりは大変美しいそうです。



2023年 12月号 (No.281)

平尾台自然観察センター



〒803-0180

福岡県北九州市小倉南区平尾台1-4-40

TEL.093-453-3737 FAX.093-452-3739

✉ [hiraodai@cronos.ocn.ne.jp](mailto:hiraodai@cronos.ocn.ne.jp)

館内リニューアル工事のため休館中です。  
再開時期が決まり次第、ご案内いたします。

# 石のひっじ だより

**草紅葉** 11月中旬、草紅葉がピークを迎えました。花や虫が少なくなって寂しいですが、同時に芽吹きの新緑への期待が膨らみます。



草紅葉と広谷台  
11月6日 8:30頃

遙か先に見える  
国東半島や由布岳



貫山から見る  
自衛隊築城基地 航空祭  
11月26日 11:55頃

貫山に登山中、ブルーインパルスのアクロバット飛行  
を運よく観覧することができました。



## 夜明け間際の「部分月食」

10月29日の明け方、日本各地で「部分月食」が西の低い空で見られました。今回の月食は満月が地球の影の北の端をわずかにかすめて通り過ぎる小さな部分月食で、月の明るさにはほとんど変化はなかったようです。前夜の月の出は澄んだ空に眩しい月が山の稜線を超えて昇ってくる様子がとても美しかったです。

10月28日 17:55頃

10月29日 5:14頃



桶ヶ辻付近から昇る月

食の最大

4:35頃 食の始まり  
5:14頃 食の最大 (食分0.128)  
5:53頃 食の終わり  
6:42頃 月の入り (福岡県)となりました。

## 謎きのこ「ワカランタケ」

きのこの名前を調べていると、分類が細分化され大分類までしか分からないことがよくあります。そんな謎が残ったままのきのこは、勝手ながら「ワカランタケ」と名付け記録しています。



11月2日

ナラタケの仲間?

切株の根本に発生していました。ナラタケの仲間はツバの有無やヒダの色などで細分化され、今回の見た目だけでは手持ちの図鑑と照合ができず、同定ができませんでした。



11月20日

ヒメツチグリの仲間?

立ち枯れの木の幹に複数発生していました。見た目は、針葉樹林の落葉上に発生する「ヒメカムリツチグリ」に似ていますが、発生環境が異なるため別種と思われます。

## イベント報告

### 『晩秋のきのこ観察会』11月5日(日)

福岡きのこ友の会から講師をお招きし、森で観察会を行いました。約40種類のきのこが見つかり、そのうち名前が分かったのはムラサキシメジ・アオキオチバタケなど約25種類でした。



観察会の様子



ムラサキシメジ

### 『青龍窟・旧観光洞探検』11月19日(日)

青龍窟のかつて観光洞として公開されていたコースをヘルメットとライトをつけて探検しました。洞窟では鍾乳石や冬眠中のコウモリ、道中では草紅葉や晩秋の野草を観察しました。



東洞口ホール



西洞口

## ボランティア研修報告

### 『目白洞ケイビング(滝コース)』

ガイド研修で約5年ぶりに目白洞最奥部の「目白の滝」に行きました。初めてのメンバー2名を含む8名でチムニーの進み方や安全なルートを確認し、約4時間で無事出洞しました。



チムニー

10月28日



目白の滝  
落差20m

## ボランティア活動報告

### 『草刈り・外来種駆除ボランティア』

散策路の草刈りと外来植物駆除を行いました。



11月1日  
草刈り (小穴付近)



YAMAPボランティア

11月4日  
セイタカアワダチソウ駆除

## 12月の催し物

【集合・解散場所】観察センター前 広場

### 『大平山・貫山縦走登山(中級)』

【日時】12月3日(日) 9:00~16:00  
初冬の平尾台を吹上峠~大平山~四方台を經由して貫山まで登ります。(往復約10km)



大平山 (586.5m)



貫山 (711.6m)

### 《応募方法》

往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、郵送。  
※複数名でのお申込み(4名まで)は、全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記。  
中学生以下は保護者の参加が必要。  
※メ切は開催日の10日前まで必着。

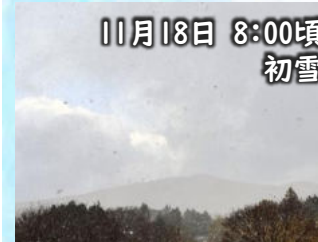
## フィールドイベント休止のお知らせ

上記イベントをもって、リニューアル工事がピークの間(12月中旬~3月予定)、自然観察会・登山イベントは休止させていただきます。再開が決まり次第、ご案内いたします。

現在、館内リニューアル工事が着々と進められています。工事による休館中、ご不便とご迷惑をおかけしておりますが、何卒よろしくお願い申し上げます。オープンをお楽しみに。

## 初雪・初霜・初氷・初霧氷

11月後半、一気に冷え込みが厳しくなり、例年よりも早い初雪が降りました。今シーズンは暖冬の予測が出ていますが、果たして…?!



11月18日 8:00頃  
初雪

強い寒気が流れ込み、北九州市内は未明から霧が降っており、平尾台に登ってくると雪へと変わりました。福岡県で11月の初雪は10年ぶりだそうです。



11月27日 7:40頃  
初霧氷

この日の早朝、平尾台の気温は5度。ドリーネ内部の気温を測ってみると-5.6度でした。ドリーネの木々でできた霧氷が朝日を浴びて白く輝いて見えました。